

# どがなかな

# VOL.11

2009.2

## 大田市です



井田村尋常高等小學校(大2～昭31)



井田小學校 前校舎(昭31～平10)

### Contents

- 2-3P 大田市農業担い手支援センター
- 4-5P キラリと輝くふるさとの店
- 6-7P 夕市 ～新鮮な海の恵み～
- 8P 新たなまちづくりに向けて
- 9P シリーズ新石見銀山⑩  
ちょんぼし語録⑥
- 10-11P おおだ情報BOX
- 12P ふるさとは今/学校紹介



### 井田小學校校歌

作詞 宮田 朝海  
作曲 堀内 文吉

一、ゆたかに風の ふきかよう  
みどりの丘よ 陽のひかり  
学びのまどに 瞳をあげて  
伸びる若木の すこやかさ  
われらは 井田の小學生

二、さやかに雲の ゆきかよう  
大江の山よ 空のあお  
学びの日々に あこがれの  
羽ばたく夢は うつくしい  
われらは 井田の小學生

# 大田市農業担い手支援センター

## 大田市の農業の原状と課題解決に向けて

読者の皆さん、はじめまして「大田市農業担い手支援センター」です。

農業担い手支援センターは、「過疎化」や「高齢化」に伴う農業従事者不足などの問題に対処するため、島根県・JA石見銀山・大田市の担当窓口を一本化し、農業関係総合相談窓口として、昨年4月に市役所産業振興部の一角に開設しました。現在6名（県1名、JA2名、市3名）の職員で業務にあたっています。

特徴は、関係機関から専任職員が集合したことにより、ワンストップサービスを基本に、迅速かつ効率的に農業関係の諸課題に対応することが可能になりました。

### 農業の現状

最近、「食」にまつわる

暗い話題が後を絶たず、産地偽装、毒物混入、消費期限改ざん、など「食の安心安全」が脅かされています。

また、燃料の高騰により飼料、肥料も高騰し畜産も含めすべての農業経営を圧迫しています。日本の食料自給率は40%と言われ、先進諸国では最低水準です。これは、農地が有効に活用されていない事を意味しています。極端に言えば外国の農地を60%借りている状態です。（案外、ふるさとの田んぼは眠っているかもしれませんね！）

国は、「自給率を10年後に10%引き上げ50%にした」としています。これは、「耕作されていない（耕作できない）農地を元に戻し、小麦・大豆など外国に依存する食料を国内で生産するシステムを作ろう」として

ます。

現状を一言で言えば、「逆風」と「追い風」両方の風が吹いています。そうした意味においては、今は「農業再生を本格的に取り組む絶好のチャンス」と言えます。

### 支援センターの

#### 取り組み

支援センターでは、これまで農業のプロを目指す「認定農業者」、地域ぐるみで農業に取り組む「集落営農組織」、新たに農業に取り組もうとする人材・企業を対象とした「新規就農者」の育成支援を大きな柱にして活動してきました。

今回、こうした取り組みの一例を紹介させて頂き、大田市の農業状況をお知らせしたいと思えます。

### 異業種農業参入 ファーム浮布株！

ファーム浮布株は、三瓶町池田で土木建設業を営む、「緑建設㈱」と「小谷建設㈱」の2社で立ち上げた、異業種からの農業参入法人です。

池田で現在も実施中の「ほ場整備」を契機に、地域農業の担い手として、地元專業農家を役員に迎え、水稲の大規模経営を目指しています。

昨年は2年目の栽培で、ほ場整備が終了した約5haでコシヒカリを栽培しました。事業がすべて終わる平成22年には、約22haで栽培することになっています。

三瓶は、寒暖の差が大きく「旨い米」がとれる県内有数の米どころとして有名です。ファーム浮布株の米栽培の特徴は、「島根県認定エコファーマー」として、減農薬、減化学肥料により「安心安全の米づくり」を

### 支援センターからの お願い

現在、大田市と農業委員会では「耕作放棄地調査」に取り組んでいます。

これは、「食料自給率向上対策」の一環として、作付けされていない農地を調査し、使用したい農家のみなさんへ有効活用していただくこうとする事業です。

この調査により、「耕作放棄地」の使用を希望する農家から、大田市に農地をお持ちのみなさまへ「使用希望」の問い合わせがある場合があります。その際には、農地利用の契約（利用権設定）を行った上で、活用協力頂きますようお願いいたします。





基本にしています。そして「無洗米」加工を施し「島根さんべ浮布米」として、地元・市内・県内そして広島を中心に県外販売を手がけています。

今後は、「米粉」「発芽玄米」についても需要を見込み生産を拡大する予定です。

社長の藤原眞章さんは、「今では、本業（土木業）より米の販売が忙しい。収穫の時は寝る時間をさいて、米の乾燥につきつきりだつた。これから栽培面積が増えていくので、新たな販売先の確保に精力的に動きたい。将来的には、観光農園の経営を視野に入れ、国立公園三瓶山の観光拠点の一つになるよう頑張りたい」と抱負を語りました。

農業担い手支援センターでは、自立できる農業の担い手の育成を目指し、がんばる農業者を精一杯支援していきます。



昨年、ファーム浮布株はソバ（1.5ha）の栽培も行いました

読者の皆さんも、「ふるさとへ帰って農業をやってみようか！」そんな気持ちでももっていただければ幸いです。ふるさと大田で農業をやってみたい方は支援センターへご相談ください。

### 【問い合わせ】

大田市農業担い手支援センター  
(大田市役所産業振興部内)

電話：0854-84-7330  
FAX：0854-82-9731  
E-Mail: o-ninaite@iwamigin.jp

## ファーム浮布株式会社

代表取締役 藤原眞章

住所：大田市三瓶町池田155  
電話：0854-83-2588 FAX：0854-83-2544  
ホームページ：<http://www14.ocn.ne.jp/~ukinuno/>  
E-Mail: yuugen-midori@tulip.ocn.ne.jp



☆無洗米 500円/kg  
(3kg・5kg・10kgほか)

☆米粉 600円/kg

で販売しております。ご注文お待ちしております。

地域農業の衰退に歯止めをかけ、消費者の皆様にとって身体に優しく、環境にも優しい安全で、安心して、美味しく食べていただけるお米づくりを目指しています。

### ※エコファーマーとは？

①土づくり！②化学肥料の使用を慣行の3割低減！③化学農薬の使用を慣行の3割低減！の3つに組み、環境保全型農業への技術を導入する5年間の計画を立て、知事の認定を受けた農業者のこと

# 経済を支えてきた5店を推奨店として表彰！

大田市では、このほど永年にわたって地域経済を支えてこられた5店の事業者の皆さんを「悠々おおだふるさとの店 キラリと輝く推奨店」として、表彰しました。

この表彰制度は、時代が目まぐるしく移り変わる中で、永年地域に愛され、地域に根ざした地道な商業活動を続けてこられた事業者の方を表彰し、商店街並びに地域全体の活性化を図ってこうと創設したものです。

初めての表彰となる今回、大田商工会議所と銀の道商工会から推薦を受け、市が認定した5店の事業者の方に、竹腰市長から表彰状と認証ステッカーを手渡ししました。

表彰式で市長は、「それぞれのお店の個性や特徴を大切にし、いっそう歴史を積み重ねていただきたい」とあいさつし、事業者の皆さんの労をねぎらいました。表彰者は、常連さんからの「新聞見たよ！」との思



左上：銀の道商工会森崎視璋会長、右上：商工会議所内藤秀副会頭、前列左から吉川浩嗣さん、宮内恵美枝さん、日高治夫さん、竹腰創一市長、若林邦宏さん、長見直行さん

いがけない反応の多さに驚きながらも「ここまで続けてこられたのもお客様のおかげ。表彰は感無量です」と少し照れながら笑顔で語ってくれました。

市では、市民の皆さんをはじめ、当市を訪れる観光客の皆さんに対し、表彰したお店を積極的にPRしていく中で商業振興や観光振興につなげていきたいと考えています。

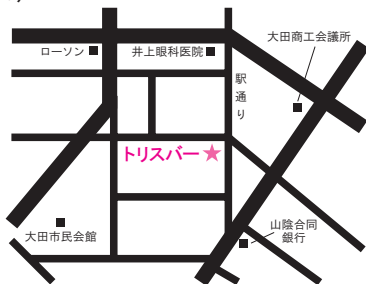
皆さんも、帰省の際などに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。懐かしいあの

## ふるさとの店

### トリスバー



- 代表：宮内恵美枝さん
- 住所：大田市大田町大田イ170-4
- 電話：0854-82-1015
- 営業時間等：20:00～（年中無休）
- 沿革：昭和34年開業
- お店の紹介：今年8月1日で創業50周年を迎える。店を切り盛りするのは恵美枝さんと妹の元子さん。2人の笑顔を目当てに20代から80代と幅広い世代のトリスファンが夜な夜な集う。様々なジャンルの昔懐かしいレコードが数多くあり、好きなレコードを選んでかけてもらうのも楽しみのひとつ
- カウンター席12席のみ



### 霧の海食堂 きっ川



- 代表：吉川 浩嗣さん
- 住所：大田市三瓶町志学口934-1
- 電話：0854-83-2130（FAX兼用）
- 営業時間等：8:00～23:00（年中無休）
- 沿革：慶応3年大田町で開業。昭和32年、三瓶町志学で霧の海食堂を開設
- お店の紹介：三瓶山の壮大な雲海が見られる食堂。名物ジンギスカン料理をはじめ地元の食材を利用したメニューを提供し、観光客や地元客に愛されている
- お勧めメニュー：☆ジンギスカン（1,100円）  
☆〔通称〕わらじトンカツ（1,400円）  
☆三瓶そば（550円）ほか



ジンギスカン（2人分）

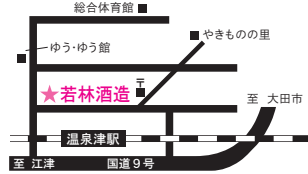




## 若林酒造(有)



- 代表：若林 邦宏さん
- 住所：大田市温泉津町小浜口73
- 電話：0855-65-2007 ■FAX：0855-65-3549
- e-mail：kaishun@s5.dion.ne.jp
- HP：http://www.kaishun.co.jp/top.htm
- 営業時間等：7:30~19:30（年中無休）
- 沿革：明治2年創業
- お店の紹介：創業以来、地元の酒米にこだわった酒造りに取り組み、清酒「開春」として県内外の多くのファンに親しまれている
- お薦め商品：☆開春西田・原酒〔ヨズクハデ干し山田錦使用、生酏（蔵付酵母）仕込〕(1,470円/720ml)  
☆米の乗〔契約栽培山田錦使用〕(2,500円/1,800ml)  
※詳しくはHPをご覧ください



ふるさとの店認証ステッカー



頃の記憶を思い起こす人、新たな発見をする人、きつと人それぞれの素敵な出会いや、時間を過ごすことができることでしょう。

今後もキラリと輝く名店をどんどん表彰していきまします。皆さんのお気に入りのお店の店をお知らせください。

【問い合わせ】  
大田市産業振興部  
商工振興担当  
電話：0854-82-1600  
内線 231  
FAX：0854-82-9731

# キラリと輝く

## 日高恵比須堂



- 代表：日高 治夫さん
- 住所：大田市三瓶町志学口932
- 電話：0854-83-2430（FAX兼用）
- 営業時間等：7:00~19:00（年中無休）
- 沿革：昭和8年創業
- お店の紹介：さんべ温泉街で長くのれんを守り続ける和菓子の老舗。自家製の餡を使った和菓子の製造販売を手掛け、看板商品である三瓶名物「そばまんじゅう」をはじめとした、「こだわりの味」は多くのファンから愛されている
- お薦め商品：☆そばまんじゅう（800円/10個入）  
☆金つば（650円/8個入）  
☆竿ようかん（1,100円/1竿） ほか



## 出雲屋蒲鉾店



- 代表：長見 克己さん
- 住所：大田市仁摩町仁万777-1
- 電話：0854-88-2952 ■FAX：0854-88-4206
- e-mail：izumoya@nima-cho.ne.jp
- HP：http://www.nima-cho.ne.jp/~izumoya/
- 営業時間等：8:30~18:00（12/31及元旦のみ休）
- 沿革：昭和36創業。昭和55年国道9号沿いに出店
- お店の紹介：創業以来、地元産の生鮮魚等を原材料とした商品づくりにこだわり、野焼き・蒲鉾等の水産加工練製品の製造・販売を行っている
- お薦め商品：野焼き、蒲鉾、天ぷら、一夜干、塩辛ほか  
※詳しくはHPをご覧ください





# 夕市 ～新鮮な海の恵み～

## 大田市の水産業

日本海に面している大田市の海岸線はおよそ46km。砂浜あり岩礁ありの白砂青

松の変化に富んだ海岸を有しています。漁業では、小型底引き網漁業、一本釣り、採貝藻漁業など多くの漁業が行われ、平成19年には約8千トン、漁獲金額約

31・7億円が水揚げされています。

そのなかでも県内57隻あるうちの50隻の漁船が在籍する小型底引き網漁業は大田市の基幹漁業といえます。小型底引き網漁業とは、10～15トンの船で水深200m程度の海底で網を引く漁法で、カレイやヒラメ、タイなど多くの魚種が水揚げされるのが特徴です。また、全国的に漁師の高齢化が進んでいるなかで特に市内の和江地区では、若い乗組員が多く活気に満ちています。

## 夢をかなえ漁師に



らIターンしてきた藤本卓

也さん(25歳)。平成16年からJFしまね久手出張所に在籍し小型底引き網船の乗組員として活躍されています。小さい頃から海が大好きで「漁師になりたい!」とずっと思い続けて育ちました。

漁師とは何の関わりもない生活からいきなり漁師になるといつても周りからは反対されました。しかし、父と同じ建設関係の短大卒業を間近に控えたとき、インターネットで漁師募集のサイトを発見。「漁師になりたい!」という夢を叶えるきっかけとなりました。

いろいろな調べるなかで支援制度があったこともありJFしまね久手出張所でお世話になることに決めました。

漁師はきついと覚悟はしていたものの現実は想像を超えていました。体力もそうでしたが、一年くらいは船酔いとの戦いだったと言います。

## おおだのお魚クイズ

大田市で一番多く水揚げされる魚は何でしょう?

①あじ ②カレイ ③あんこう

ヒント「左ヒラメに右〇〇〇」

答えは7ページ

そんな藤本さんは、「6～8月は底引き網漁が禁漁期で、延縄漁はななわなどの勉強をしています。近い将来には自分で船を持って独り立ちしたい。結婚し子供も生まれ一段と責任を感じています」と静かに、そして強い意志を持って語ってくれました。





## 夕市

みなさんは魚のせり市といえど早朝に行われるものと思っていまいませんか？

じつは、ここ大田市では夕方行われているのです。

市内の漁船は、小型船が多く、大型船のように数日間操業するのではなく、早朝2時頃に出漁した船が、その日の夕方5時頃に帰港する日帰り操業で、帰港し水揚げされたらそのまませり市にかけられ、その日のうちに地元のみならず関西や九州に出荷されます。



せり市の準備風景

「夕市」は、東北の一部で行われているものの全国的にも珍しく、その日のうちに出荷されるため、鮮度はバツグン。市外で水揚げされた魚に比べ、例えば大阪では丸一日早くみなさんの食卓へ届きます。

また、地元飲食店を対象に開催した市場見学&試食会において「改めて大田の魚の美味しさに感激した」と、鮮度と味はプロの料理人も太鼓判を押ししました。

### 市場のにぎわい

ごくごくと帰港する漁船から水揚げした魚は、漁師の家族を中心に魚箱に詰められ、市場に並べられます。静かな漁港が一気に活気に満ちたお祭りさながらの風景に変わる瞬間です。せり人を囲んで仲買人の声が飛び交い次々にせり落とされていきます。(一般の個人がせりに参加することはできません)

石見の国おおだ観光大使でもある演歌歌手永井裕子さんが歌う「和江の舟唄」は、この活気に満ちた様子に感激したことがきっかけとなり作られたというほどです。



夕方6時頃からせり市が始まる

### へかやき

地元の旬の魚をふんだんに使ったすき焼き「へかやき」をご紹介します。

「へか」とは、農機具の犁の先の金属部分のことで、これを鍋の代用に使ったことから、この名前がついた

と言われています。

波根旅館街では、「地元漁師の伝統料理」を後世に伝えていくとともに地元だけではなく県外の観光客をもてなそうと「へかやき」料理を数年前からメニューに取り入れています。アマダイやアナゴ、カレイなど新鮮な旬の魚をすき焼き風にしたもので、豪快であってヘルシーと好評です。是非ご賞味ください。

### 《波根旅館街》

- 金子旅館 TEL0854-85-7130
- 水明館 TEL0854-85-7358
- 石原旅館 TEL0854-85-8529
- 武田旅館 TEL0854-85-8635
- 朝日旅館 TEL0854-85-8431



※いずれのお店も事前にご予約が必要です。

上記のほか市内の他の飲食店でも提供されています

## おおだのお魚クイズ 答え

### ② カレイ

平成19年の漁獲量は1,869トン。「カレイ」には、白ガレイ、水ガレイ、笹ガレイなどの種類があり、一般的に干物や煮物として調理されます。笹ガレイは、うまみ成分を多く含みカレイの中でも高級魚とされています。ちなみに第2位は「アンコウ」752トン、第3位は「あじ」で740トンでした。



### 問い合わせ

大田市役所産業振興部水産振興担当  
漁業協同組合 J F しまね大田支所久手出張所

TEL 0854-82-1600 内線 248  
TEL 0854-82-8955

# 新たなまちづくりに向けて

「公民館」から「まちづくりセンター」へ

大田市では、市と住民の皆さんと一緒に、まちづくりを進めていく「協働によるまちづくり」に力を入れていきます。

現在、各地域にある公民館を中心に、花いっぱい運動や高齢者学級、そして、子どもの見守りなど、まちづくりや生涯学習活動が活発に取り組み、「自分たちの町は自分たちの手で良くしていこう」と頑張っています。

しかし、人口減少や高齢化が進む大田市では、今までの活動を維持し、さらに、活性化していくのは、難しくなっており、新たなまちづくりの仕組みが必要と考え、新年度から、長く皆さんに親しまれてきた、現在の「公民館」を「まちづくりセンター」に衣替えします。

施設の名称は変わりますが、今まで、公民館で取り

組んできた活動は、まちづくりセンターでも、積極的に取り組んでいきます。

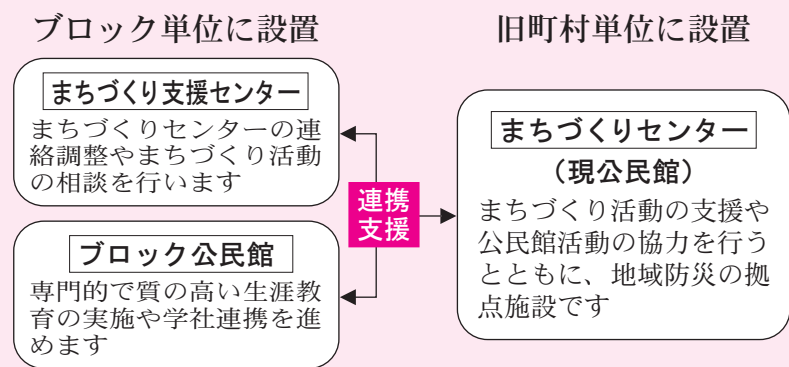
そして、4つの地域をひとつのエリアとするブロックを設置し、ブロック単位にまちづくりセンターの活動支援やブロックでの取り組みを進めていく「まちづくり支援センター」と、社会教育を推進する「ブロック公民館」を設置します。

特に、ブロックごとに設置する「まちづくり支援センター」には、市職員を配置し、今まで以上に足腰軽く、積極的に地域に向いていきます。そして、地域でのいろいろな相談をお受けするとともに、一緒に、知恵を出し、汗をかき、まちづくりを進めていきます。

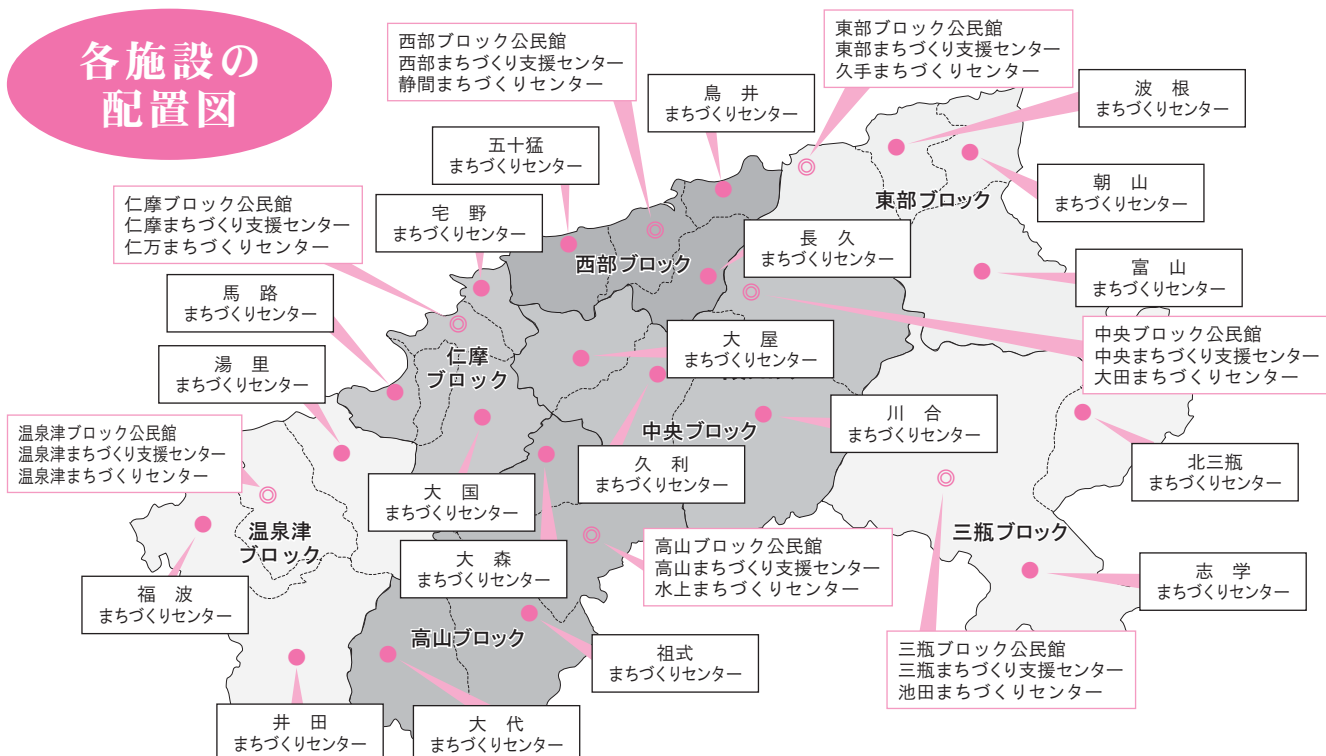
大田市に住む市民がいきいきと暮らし、大田市を離れても愛してくだる皆さんにとっても魅力ある大田市づくりに向け、一層頑

張ってまいります。  
大田市にお帰りの際は、一度「まちづくりセンター」に立ち寄っていただき、皆さんの町の頑張っている姿を見て、そして、ふるさとに対し、アドバイスをいただければと思います。お待ちしております。

## 【新たな仕組みのイメージ】



## 各施設の配置図



【問い合わせ】大田市役所地域政策課 ☎0854-82-1600 内線207



## 世界遺産センターがフルオープンしました

昨年10月20日、石見銀山の玄関口となる世界遺産センターがフルオープンしました。

展示物の観覧や体験学習を通じて、石見銀山をより深く理解していただくため、展示棟と収蔵体験棟が完成。一昨年10月のガイダンス棟先行オープン以降、国内外から約27万5千人の来館者を迎えました。昨年10月に開館した展示棟では約1万5千人に観覧いただいています（いずれも延べ人数。12月末現在）。

「ひと目でわかりにくい」と言われている石見銀山ですが、興味をもっていただくために、「よりわかりやすく、より深く」を合い言葉に、展示や体験学習のメニューづくりにセンター職員は腐心しました。

銀山最大の坑道「大久保間歩坑内の復元模型」（右写真）を展示室に設けたこともその一例です。

鉱脈を追って掘り進んだ「江戸期のノミを使った手掘り痕」と「明治期に近代技術で開削した痕」がいっしょに残っている箇所をさがし出し、正確にシリコンを使って型取りを行いました。

皮膚感覚や視覚でも本物を感じていただけるよう、模型設置後も、湿り気やキラキラ光る石英の粒の再現に工夫や試行錯誤を繰り返しました。

奥行8㍍×幅2㍍×高さ3㍍（概数）の模型のなかに入っている観覧者からは、「本物の坑道のような」との感想も聞かれます。

さて、毎年春、たくさんの学生が進学や就職で当地を離れる季節をむかえます。

「わたしのふるさとは石見銀山があるよ」と胸をはってさまざまな地に旅立ち、そしてふるさとに帰ってくる際に現地に足を運んでもらえるきっかけづくりに、世界遺産センターが一役を果たせるよう努めたいと考えています。



写真①



写真②

ガラス繊維強化コンクリートで約1㍍角に造形し（写真①）、室内で組み立て（写真②）。完成形はセンターでとくとご覧ください

## ちゃんぽし語録⑥

祖父(A)と孫娘(B)

夕飯時の会話から。なんだか揉めているみたいですが…。

- A: 今夜のおかずはシイラの刺身か、ごっつおだな。手がたわんけ、てしょ取ってごしないや。  
 B: はい小皿。方言やめてって何べんも言ってるでしょ。  
 A: 年拾やあこがなもんだいな。ほいだがなしてそがなこと言うだかいな。  
 B: 学校で方言が出ると馬鹿にされるんだもん。  
 A: そがだかな。  
 B: みんな「方言なんてかっこ悪いがー」って言うてるもん。  
 A: やれのー。ほいだが「がー」も方言だで。  
 B: え?! そがなの?  
 A: やれしわいだの、やれんだのよお言うてるが、あれも方言だでな。  
 B: ええ、明日からなんて言おう……。  
 A: やあれのー……。

（解説）

おかずは何でも「ごっつお」。年を「拾う」。お年寄りのそんな言い回しが温かく感じます。最近は方言の良さが見直されつつあり、テレビでもよく耳にするようになりましたね。

でも思春期になると急に方言に反抗を試みる子どもがいます。そんな子どももたいてい「がー」や「そが」は知らずに使い続けているもので、「ああ、この子らも言い出したな」と、ほほえましく感じます。

方言を標準語にするとニュアンスが伝わらないこともあり、いつも対訳に困ります。でもそういう方言をできるだけ残して行きたいものです。

【対訳】

- A: 今夜のおかずはシイラの刺身か、ご馳走だなあ。手が届かないから、小皿を取ってちょうだい。  
 B: はい小皿。方言やめてって何度も言っているでしょ。  
 A: 年を取ればこんなものだよ。けれど何でそんなこと言うの。  
 B: 学校で方言が出ると馬鹿にされるんだもん。  
 A: そうなの。  
 B: みんな「方言なんてかっこ悪いがー」って言っているもん。  
 A: やれやれ。けれど「がー」も方言じゃないか。  
 B: え?! そうなの?  
 A: 苦しいとか、辛い（困る）とかよく言っているけど、あれも方言だよ。  
 B: ええ、明日からなんて言おう……。  
 A: やあれやれ……。

# みんな！ 待っとなるでな～

## ぐるっと三瓶ミニツアー

期日 5月3日(日)・4日(月)  
時間 13:00～14:30  
場所 三瓶山周辺  
料金 無料 ※要予約  
定員 28人(各日)  
三瓶山の見所スポットを学芸スタッフが案内しながらマイクロバスで巡ります。とっておきの景色や湧き水などを紹介します。  
[問] 島根県立三瓶自然館サヒメル  
☎ 0854-86-0500  
<http://nature-sanbe.jp/sahimel/>

## 埋没林フェスティバル

期日 5月4日(月)  
時間 10:00～15:00  
場所 三瓶小豆原埋没林公園  
料金 入園料  
(大人300円・小中高生100円)  
立ち並ぶ巨木の下で神楽上演などを行います。縄文の森で大蛇が舞います。  
[問] 三瓶小豆原埋没林公園  
☎ 0854-86-9500  
<http://nature-sanbe.jp/azukihara/>

## たかのじ 高野寺・つつじ祭り

期日 5月5日(火・祝日)  
場所 高野寺(温泉津町井田)  
約1,000本のつつじが咲き誇り、訪れる観光客の目を楽しませてくれます。  
[問] 大田市役所温泉津支所  
☎ 0855-65-3111

## 酒仙蔵人・五郎之会 酒米の田植え

期日 5月9日(土) (予定)  
場所 温泉津町西田地区の水田  
温泉津のまちおこし、棚田とヨズクハデ景観の保全に燃える同会の、12回目となる田植えが行なわれます。飛び入り参加も大歓迎!  
[問] 若林酒造(有)  
☎ 0855-65-2007



## 大田市小学校連合運動会

期日 5月16日(土)  
場所 大田小学校校庭  
市内21校から、約1,000人の児童が参加!!



## クリーン三瓶

期日 5月17日(日) (予定)  
場所 三瓶山西の原  
三瓶山西の原を中心とした清掃活動です。国立公園三瓶山をみんなできれいにしませんか?  
[問] 大田市役所環境衛生課  
☎ 0854-82-1600



## カキツバタまつり

期日 5月31日(日)  
時間 10:00～15:00  
場所 三瓶山北の原(姫逃池)  
料金 不要(野点は茶菓代200円)  
三瓶山姫逃池のカキツバタが見頃を迎える季節。花を楽しみながら野点などを楽しまします。





# おおだ情報BOX

## 春の彼岸市「中日つあん」



期日 3月20日(金)・21日(土)  
 場所 大田市駅通り  
 大田市民会館駐車場など  
 昔は、農民の日用品の交換・農具市・牛馬市などを主としていましたが、現在では、植木市など約2kmにわたって、300近い露店が並びます。  
 [問] 大田商工会議所  
 ☎ 0854-82-0765

## 三瓶山西の原火入れ(通称「野焼き」)

期日 3月21日(土)  
 場所 三瓶山西の原  
 三瓶山の防火対策と草原の維持再生を目的に毎年この時期に行われています。大草原に立ち上がる炎は見る者を圧倒し必見です。  
 ※見学自由  
 [問] 産業振興部農畜産振興担当  
 ☎ 0854-82-1600



## 春のやきもの祭り

期日 4月19日(日)(予定)  
 場所 温泉津やきもの里  
 温泉津焼の三窯元が一堂に会し、温泉津の地で育まれたやきものの真髄にふれることができます。  
 登り窯の窯出しや即売が行われます。陶器のほかにも、市内の特産品が盛りだくさん!  
 また、温泉街では露店が立ち並ぶ“ぶらり市”も開催されます。  
 [問] やきもの館  
 ☎ 0855-65-4139  
<http://www.yunotsu.org/index.html>



## 大田市では「空き家」を活用し、皆様のUターンをお待ちしています

大田市では、定住希望者の住宅ニーズに対応した快適な住まい環境を提供するため、島根県宅地建物取引業協会大田支部との協働で、「空き家」の活用に取り組んでいます。  
 空き家は個人の大切な資産であるとともに思い出の詰まったかけがえのない財産です。  
 現在、次の9件の空き家を紹介しています。Uターンをお考えの方で空き家をご希望の場合は、大田市役所地域政策課(☎0854-82-1600)までお問い合わせください。  
 なお、空き家の詳細は、おおだの未来検索サイト「どがどが(<http://www.teiju-ohda.jp/>)」でご覧いただけます。

おおだの未来検索サイト どがどが	賃売区分	構造		⑤	賃貸	木造平屋建	
	所在地	住宅面積	敷地面積			三瓶町多根	115.4㎡
	金額	特記			1万円/月	隠れ家的な暮らしができ、五右衛門風呂つき。	
①	売却	木造2階建		⑥	賃貸・売却	木造2階建	
	大田町野城	201.4㎡	413.3㎡		山口町山口	280.4㎡	430.0㎡
	430万円	収納が多く大家族向け。市街地まで車で10分。			1万円/月 300万円	田園の眺め良好。雨漏り修繕必要。土蔵あり。	
②	売却	木造一部コンクリート2階建		⑦	賃貸	木造2階建	
	三瓶町池田	146.2㎡	168.6㎡		山口町山口	175.1㎡	180.1㎡
	350万円	日本海や三瓶の眺望が最高。雨漏り修繕必要。			3.5万円/月	日当たりの良い場所にあり、建物の状態良好。	
③	売却	木造2階建		⑧	売却	木造平屋建	
	三瓶町志学	261.0㎡	429.7㎡		祖式町	276.0㎡	776.0㎡
	850万円	建物が2棟あり2世帯家族向け。店舗利用可。			800万円	商家の佇まいで醤油蔵あり。炭酸水が涌出る。	
④	賃貸	木造2階建		⑨	賃貸・売却	木造2階建	
	三瓶町志学	77.7㎡	51.8㎡		温泉津町温泉津	158.2㎡	82.3㎡
	1.5万円/月	風呂がなく、温泉は徒歩1分。小型ペット可			3万円/月 500万円	温泉街の町並み保存地区内にあり、庭つき。	

【問い合わせ】大田市役所地域政策課(☎0854-82-1600 内線207)



# ふげんじょう 不言城 (福光城) 址

本丸(標高100m)

## ふるさとは今

不言城(福光城)は元々福光氏の居城であったが、1559年に毛利家家臣の吉川経安(きっかわつねやす)がこの地に所領を与えられた際に改修を加えて居城とした。急峻な山に二の丸、三の丸を備えた本格的な山城である。

当時は毛利氏と尼子氏による銀山争奪戦のさなか。福光は主要街道が交わり、港も有する交通拠点として栄えていた。さらに銀山を守る最前線であり、尼子氏と石見の尼子派勢力を分断する軍事上の要衝でもあった。1561年尼子方5,000人の攻撃を受けたが、経安は当時まだ珍しかった鉄砲を活用し見事撃退している。

経安の子・経家(つねいえ)は、1581年鳥取城で羽柴(後の豊臣)秀吉と戦い、兵士や民衆の助命のため自害した悲劇の名将として有名である。鳥取城山麓には銅像が立てられ、毎年慰霊祭が催されている。また、岩国市にある石見吉川氏の屋敷跡にも弔魂碑が建立されている。

経安が京の石工坪内氏を招いて興した福光石の採掘・加工は、その後、五百羅漢などに用いられ、地域の文化・景観にも大きな影響を与えた。

不言城は経安・経家・経実(つねみ)の3代に渡って居城として利用されたが、1593年に経実が吉川氏本家の家老に迎えられ、岩国に移るとともに廃城となった。

吉川氏による統治はわずか34年間であったが、福光石や菩提寺の浄光寺、祈禱寺の楞嚴寺(りょうごんじ)など、現在も当時を偲ばせるものが色濃く残る。

城跡は地元の不言城会により案内看板や山道が整備されており、20分あれば本丸まで登ることができる。石垣や巨石・観音像などが残り、廃城となって400年を経た今なお往時の風情を残している。

(出典:温泉津町誌・不言城会パンフレット・(有)坪内石材店HPほか)



番所跡に残る石垣

登山口までは  
JR石見福光駅から  
車で約5分  
徒歩で20分



巨石の立ち並ぶ山道



現在の校舎(平成10年~)



## 表紙 井田小学校

明治7年、井田村に地区で初めての小学校ができました。その後、井田・福田・荻村の三校体制で初等教育を担ってきましたが、大正2年に統合し、「井田村尋常高等小學校」として新たな一歩を踏み出しました。

井田小学校の一番の特徴は何と云っても、幼稚園・小学校・公民館の複合校舎で培われた「幼小一貫教育」の伝統でしょう。井田地区の子どものほとんどは、井田幼稚園から井田小学校へと進学します。「ピカピカの一年生」も、井田では「お兄ちゃん、お姉ちゃん」。今年度は4人のお兄ちゃん、お姉ちゃんが誕生しました。

運動会や音楽会、田植えや稲刈りなどの行事は、児童たちの晴れ舞台です。はつらつとした姿に元気をもらった方も多いのではないのでしょうか。日頃の学習や経験の成果が実った、一昨年度の「バケツ稲づくりコンテスト」での文部科学大臣賞受賞の快挙も、記憶に新しいところです。

現在の児童数は22名。先生方や保護者の皆さん、地域の皆さん、そして自然と歴史あふれる井田の風土に育まれた、元気いっぱいの『いだっ子』たちです。



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部地域政策課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail:o-tiiki@iwamigin.jp

おおだの定住サイト「おおだの未来検索サイト どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索